

授業科目	区分・教育内容		
	専門分野Ⅱ 母性看護学		
授業担当者	開講時期	単位	時間数
齊藤 豊子 (専任教員)	前期～中期	1 単位	30 時間
<b>授業の目的</b> 1. 妊娠期・分娩期の身体的・心理・社会的変化、胎児の成長について理解する。 2. 新しい家族の誕生期にある人々が健康生活を営むための看護実践に必要な基礎的知識と技術について理解する。			
<b>授業の目標</b> 1. 妊娠期の母体の変化と心理・社会的特性、胎児の成長発達、ハイリスク妊娠および異常について理解する。 2. 分娩機序と分娩経過、産婦の身体的、心理・社会的変化やハイリスク状態への看護がわかる。			
<b>授業概要</b> 周産期にある女性の身体的・精神的・社会的側面を理解すると共に、各期が正常に経過するために必要な援助、よりよい出産体験への援助の重要性、妊娠各期の対象のセルフケア能力を高めるための援助法について学習する。また、ハイリスク状態にある人々を理解しその看護について学習する。 マタニティビクス・産痛緩和法等の演習を行うことで、円滑に実習が行えるようにする。			
<b>授業計画(進め方)</b> 1 回目 I. 母性の発揮を促す看護 ・ 遺伝相談 ・ 不妊治療と看護 2 回目 II. 妊娠の成立・妊娠期の身体的特性 III. 妊娠期の看護 3 回目   ・ 妊娠の心理と健康診査 4 回目   ・ 妊婦健診時の看護技術 5 回目   ・ 妊娠と不快症状, 日常生活とセルフケア 6 回目   ・ 出産, 育児, 親役割の準備 7 回目   ・ ハイリスク状態にある妊婦, 胎児の看護 IV. 分娩の要素と分娩経過 8 回目   ・ 分娩の経過と胎児の健康状態 9 回目   ・ 分娩の経過と看護～産痛緩和を中心に～ V. 分娩期の看護 10 回目   ・ 分娩の経過と看護・産婦と家族の心理 11 回目   ・ ハイリスクな状態にある胎児の看護 12 回目   ・ ハイリスクな状態にある産婦の看護 VI. 演習 13 回目   ・ マタニティビクス 14・15 回目   ・ 産痛緩和・妊婦体験・腹部の触診・子宮底、腹囲測定・胎盤計測			
<b>テキスト</b> 系統看護学講座 専門Ⅱ 母性看護学各論 医学書院 立岡弓子編著 新訂版 周産期ケアマニュアル 第2版 サイオ出版			
<b>参考書・指定図書</b> 病気がみえる vol.10 産科 第4版 メディックメディア			
<b>評価の方法</b> 筆記試験及び演習態度を総合的に評価する			